

NCWG Cloud Application Group

部会長 前本 知志

2015年のテーマ

IoTの入り口として人の動線をデータ化し、クラウドに蓄積する。



位置情報 地図上に重要拠点をマッピングする
→イングレス的なチェックインを想定

スマホGPSで実際にいる場所とGPSのずれをルート補正の基礎情報として登録できるようにする

走れない場所、坂道情報、路面状況
(石畳、アスファルトなど、ここは必ず凍って滑る、事故率、犯罪率データと連携、、)

→最終アウトプット: ソーシャルデータを加味した最短最適ルート検索

部会報告

2015年3月13日(金)にクラウドアプリケーション部会を開催いたしました。



研究テーマについての概要設計

- IoTの入り口としてサーバーにデータを蓄積するしくみを作ることとする。
今回はスマホのセンサーデータを蓄積する。
- <システム要件>
データの属性は柔軟に可変できると良い →NoSQL、MongoDB 使ってみる
- <概要設計>
サーバーに送信する入力データの仕様を確定
サーバーから送信する出力データの仕様を確定
- <タスク配分検討>
システムの要素から必要なタスクを割り出した。

次回告知

クラウドをコアにしたアプリケーションの開発を開始します！

内容

MongoDBのセットアップとスタディを行う

【日時】

2015年4月15日 18:30 - 20:30

【会場】

株式会社システムフレンド

東京都品川区西五反田3-7-9 平澤三陽ビル8F

http://www.systemfriend.co.jp/corporate_profile/tokyo

NCWG

Cloud Application Group